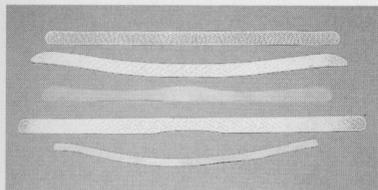


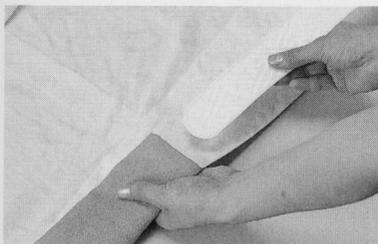
TPOに合わせて最適なものを選ぶ

衿芯で決まる美しい衿元



衿芯の形のいろいろ

様々な形の合成樹脂の衿芯。上の4本は長襦袢用。上から直線、船底、変形、くり型の各タイプ。下は肌襦袢用の「セル」。すべて◆あづま姿



衿芯の基本の通し方

衿芯は長襦袢の表からでなく、裏側の半衿の端から差し込みます。衿芯が動く場合は、半衿の両端を安全ピンで留めてもよいでしょう

衿元が乱れていては、きもの姿の美しさも半減してしまいます。

長襦袢には衿芯を入れて、胸元をきちんと見せましょう。

ここでは合成樹脂製の衿芯の数々と、それらの選び方や使い方を紹介します。装いに応じて最適なものを選んでください。

指導・着つけ／井上悦子(「あづま姿」) 撮影／塚本博昭(ST.MED) ヘア・メイク／おおつかみつえ

合成樹脂の衿芯には、直線、船底型、変形、くり型など様々な形があります。素材は主にポリエチレンやナイロンで、綸子風、塩瀬風、メッシュなどに加工されています。これらの衿芯のうち、着用したとき最も硬めな感触をもつのが綸子生地を蒸着させた「リンズ」で、以下「塩瀬」「ポリエチレン」「メッシュ」と順に柔らかさが増します。

衿芯の幅は長襦袢に使うもので4cm、四・三cm、四・五cm、五・三cm(広幅)など。長さは一般的な八〇cmから長めの九五cmまで数種。このほか、肌襦袢の衿に入れる小衿芯とよばれる細いタイプもあります。

合成樹脂の衿芯は、形や素材によって異なった特徴がありますので、着る方の体型やきもの種類などによりそれぞれに適したものを選びます。いろいろなタイプの衿芯を、装う場によって使い分けると、着こなしの楽しさが広がることでしょう。

オーソドックスな直線タイプ

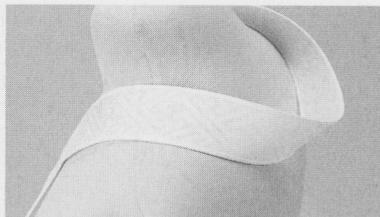
趣のある「リンズ」の直線タイプを色無地に使用しました。「リンズ」の衿芯は、ポリエチレンに綸子の生地を蒸着させたもので、樹脂の衿芯のなかでは最も厚みがあり、硬めの感触です。長襦袢の台衿が厚めのものに向きます。衿の立ち上がり部分が自然できれいな仕上がりになり、衿元に丸みをもたせたい場合に適しています。



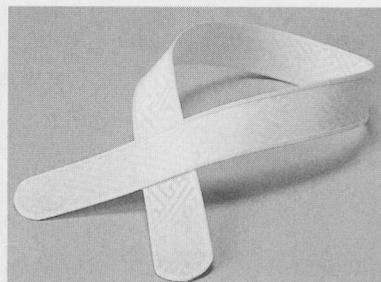
上と左上／「リンズ」の直線タイプは衿元を自然な丸みに。礼装から小紋まで幅広く適します



上から●No.370「メッシュ直」芯素材／樹脂加工ナイロン 4×80cm 210円●No.379「塩瀬」芯素材／ナイロン糸織生地 4×80cm 262円●No.387「塩瀬広幅」芯素材／ナイロン糸織生地 4.5×90cm 315円●No.388「ポリ直」芯素材／ポリエチレン 4×80cm 157円●No.389「好リンズ」芯素材／ポリエチレン 生地／レーヨン 4.3×85cm 315円●No.392「好リンズ90」芯素材／ポリエチレン 生地／レーヨン 4.3×90cm 367円 すべて◆あづま姿

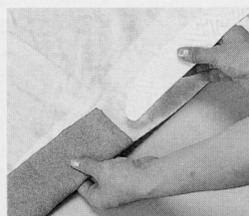


上と右／No.389「好リンズ」。衿芯はしっかりとした手触り。衣紋も美しいラインに。◆あづま姿



二通り使える船底タイプ

カーブがついてシャープな衿元に



上／一般的な使い方です。衿芯は船底の形のまま、先端の丸みを上にし、長襦袢の裏側の半衿の端から差し込みます

この衿芯は船底のような緩やかな曲線がついているので、衣紋を深く抜きやすく、きもの通の方だけでなく、初心者にもお薦めです。衿芯を入れる向きにより、二通りに使えるのが特長。船底の形のまま使う場合は首に添って衿がなじみます。

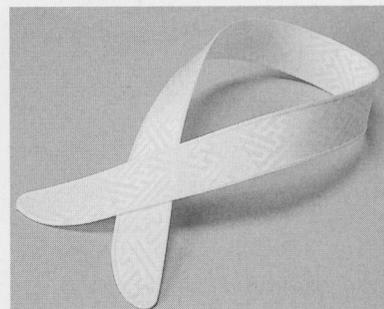


上と左上／衿が首に添い、衿元がシャープになります。衣紋を深く抜きやすい衿芯

上から●No.390「好リンズ船底」芯素材／ポリエチレン 生地／レーヨン 4.3×81cm 367円●No.391「好リンズ船底90」芯素材／ポリエチレン 生地／レーヨン 4×90cm 420円●No.376「ポリ船底」芯素材／ポリエチレン 4.3×81cm 2枚入り 210円●No.377「ポリ船底90」芯素材／ポリエチレン 4×90cm 2枚入り315円 すべて◆あづま姿



上／初心者扱いやすいNo.376「ポリ船底」。右／張りのある感触が特長のNo.390「好リンズ船底」を使用。2点とも◆あづま姿



首周りに余裕が欲しい方に

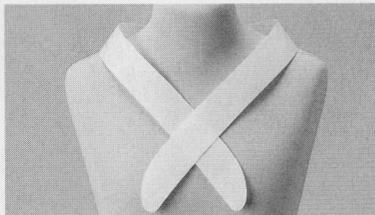


上と右／衿が首から離れ、ゆとりが感じられます。衿が汚れにくく、衣紋を深く抜きやすいタイプなので、格の高いきものに適します

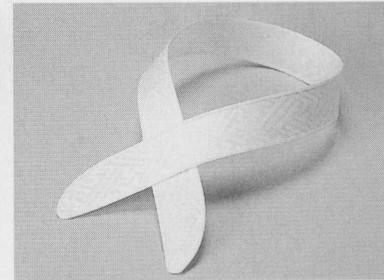


下／上段と同じタイプの船底の衿芯を、中央が山型になるよう上下を逆に使います。衿芯の先端の丸みを下にして半衿に差し込みます

上段の使い方と逆に、山型のカーブを上にして使うこともできます。半衿が直接首に当たらないため、首周りにゆったりと余裕をもたせたい方やふくよかな方に向きます。船底タイプには「リンズ」と「ポリエチレン」の二種がありますが、長襦袢の台衿が薄い場合や、ソフトな感触を好む方なら後者のほうが適します。



上と右／衿芯を逆に山型の向きで使うと、衿が直接首に当たりません。2点とも◆あづま姿



首周りをソフトに包む変形タイプ



上2点／首の両脇に衿芯が直接当たらないので、ソフトな着心地が得られます。上の点線が衿芯の上辺にあたります

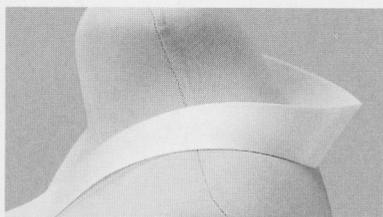


変形タイプの衿芯

半衿に山の部分が上になるように差し込みます

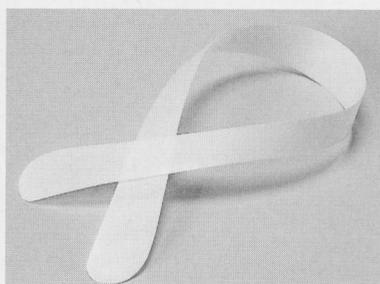


上から●No.371「メッシュ変」芯素材／樹脂加工ナイロン 4.5×80cm 210円 ●No.373「メッシュ広幅」芯素材／樹脂加工ナイロン 5.3×86.5cm 262円 ●No.375「ポリ変」芯素材／ポリエチレン 4.5×80cm 157円 すべて◆あづま姿

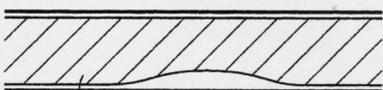


上と右／No.375の「ポリ変」を使用。やや硬めの感触で、衿元に張りが生まれます。◆あづま姿

衿芯が首に当たるのが嫌な方にお薦めしたいのが変形タイプ。背中心に当たる部分の幅が広く、衿を合わせる部分は狭くなっているため、首に当たる部分がソフトに感じられます。素材はポリエチレンとナイロンの二種。ポリエチレンのほうが一般的で硬め。ナイロン製のメッシュはソフトな感触です。ともにカジジュアルなおしゃれ着に用いたい衿芯です。

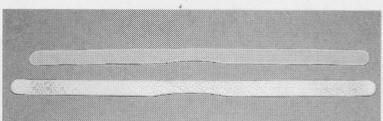


左と下／この衿芯を使うと、半衿の後ろ部分が柔らかな印象になり、前姿もすっきりと仕上がります。張りをもたせたい場合は「リンズ」を、少し柔らかに着つけたいときは「塩瀬」を選ぶとよいでしょう

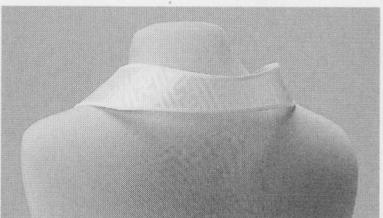


くり型タイプの衿芯

半衿にはくぼみが下になるよう差し込みます



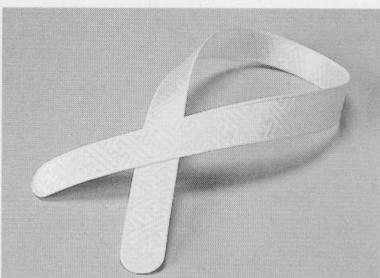
上から●No.394「塩瀬クリ」芯素材／ナイロン糸織生地 4.5×90cm 367円 ●No.393「リンズクリ95」芯素材／ポリエチレン生地／レーヨン 4.3×95cm 420円 すべて◆あづま姿



上と右／No.393「リンズクリ95」を使用。後ろの衿のラインがすっきり。◆あづま姿

背骨を避けるくり型タイプ

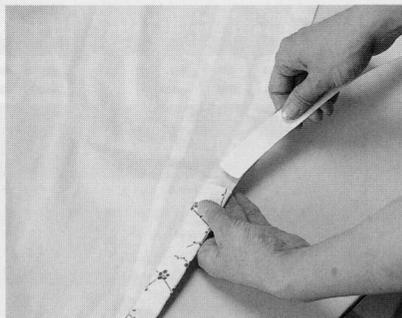
この衿芯は背骨に当たる部分がくぼんでいるので、頸椎に当たっても気になりません。種類は「リンズ」と「塩瀬」の二タイプがあり、「リンズ」は張りがあり厚めなので扱いやすいでしょう。「塩瀬」はナイロン糸を塩瀬風に織った生地で、硬めの「リンズ」と柔らかめの「ポリエチレン」の中間程度の感触です。いずれもおしゃれ着に適する衿芯といえるでしょう。



肌襦袢に使う小衿芯

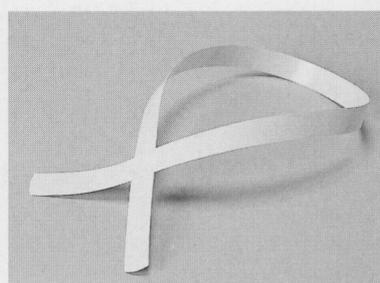


上2点/「セル」の上に「塩瀬」の直線タイプを重ねました。長襦袢の衿の内側に細いラインでセルが入っている様子がわかります。衣紋のカーブも美しく仕上がっています



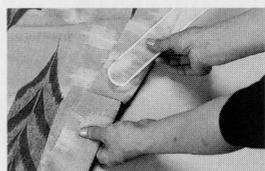
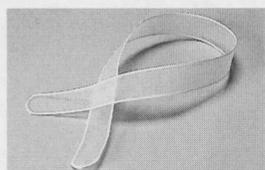
上2点/上は「セル」の衿芯を肌襦袢に差し込むところです。必ず裏側から入れます。普段忘れがちな肌襦袢の衿も、こうすると安定します

衿元が乱れないためには、半衿に差し込む一般的な衿芯も重要ですが、ポリエチレン製の細い小衿芯「セル」は、衿元がずれないので衿芯と併用するとよいでしょう。「セル」は肌襦袢の裏側の衿端から差し込みます。肌襦袢の衿が固定することで、胸元にきれいなラインを作ることができます。



上/No.384「セル少々」を使用。芯素材/ポリエチレン 2×70cm 105円 ◆あづま姿

メッシュ素材はゆかたにもお薦め



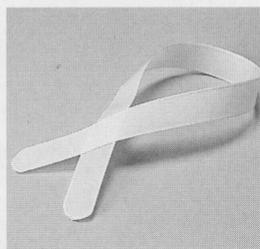
樹脂加工ナイロンを使ったメッシュは、衿芯のなかで最も柔らかな雰囲気仕上がる素材です。普段に使いやすく、ソフトな衿元になります。気軽なお出掛けのほか、ゆかたに活用するとすっきりと美しい衿元になりますので、試してみてください。

上2点/No.370「メッシュ直」の直線タイプを使用。衿芯はゆかたの内側の衿先から差し込みます。芯素材/樹脂加工ナイロン 4×80cm 210円 ◆あづま姿



右/ゆかたは衿元が乱れがちですが、衿芯を入れると、どなたでも張りのある衿元に仕上げることができます

適度な柔らかさが特長の「塩瀬」



上/しなやかな手触り。No.379「塩瀬」芯素材/ナイロン糸織生地 4×80cm 262円 ◆あづま姿

「リンズ」よりも柔らかく、「ポリエチレン」よりも若干硬めの感触をもつのが「塩瀬」です。適度な柔らかさがあるので、自然な装いに仕上がります。この特長を生かし、小紋や紬のおしゃれを楽しみましょう。肩の張らない素敵な着姿になります。



上と右/「塩瀬」は自然な仕上がりが特長です。礼装や訪問着といった格のあるきものより、おしゃれを楽しむきものに向く衿芯といえます

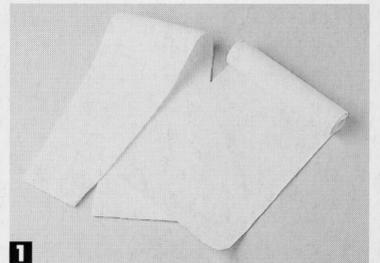
問1

半衿を
きれいに付ける
コツを教えてください。
ください。

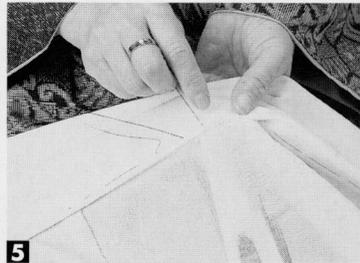
答 半衿の付け方には二通りあり
ます。本式の付け方は、まず

先に衿芯に半衿をかぶせて縫い、その後長襦袢に縫い付けます。下記に昔から使われている衿芯の三河芯を使い、きれいに仕上げるコツを解説しました。この縫い方は衿の内側にシワが寄りにくく美しく仕上がります。略式の付け方は、長襦袢の衿に衿芯を先に縫い付け、その上に半衿を重ねて縫う方法です。簡単に付け替えができるので、一般的に多く使われている方法です。(田家)

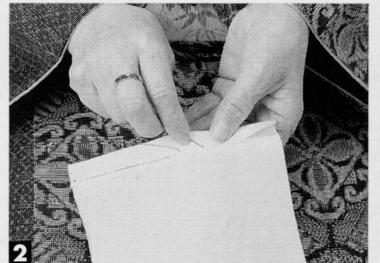
三河芯を使って仕上げる



1 右は木綿の産地の名をもつ衿芯「三河芯」。左は衿芯としても使える絹の帯芯です



2 長襦袢の表の背中心に半衿を合わせ、中心から左右に衿先まで縫い付けます



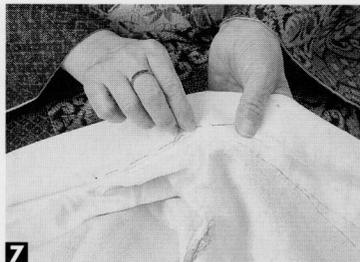
3 長めの針とつけ糸を使い、短辺の両端を1cm程度折り返して粗めに縫います



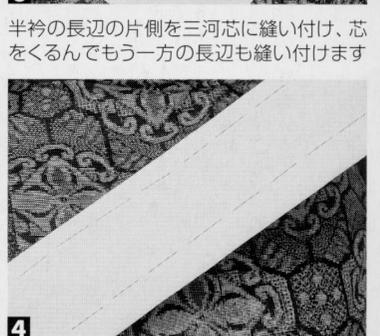
4 半衿を返し、長襦袢の内側の背中心から左右を5~6cm程度、細かく縫い付けます



5 半衿の長辺の片側を三河芯に縫い付け、芯をくぐるんでもう一方の長辺も縫い付けます



6 衿肩あきを10cm程度縫わず、先の内側を指で引っ張りながら衿先まで縫います



7 こうして三河芯に半衿を掛けたものを何枚か用意しておくことで急ぎの外出に役立ちます



8 衿先に伸縮性のある紐(包帯など)を付けておくと襦袢がずれず、衿元の乱れ防止になります

問2

バイアス衿芯や
バイアス半衿の
特徴と使い方の
ポイントとは？

答 生地を斜めに取った
バイアス半衿は、衿

の後ろのシワや波打ちが解消される利点があります。衿芯もバイアス製を使うと素材どうしがなじみます。生地に適度な伸縮性があるので、襦袢の衿に緩みがないように縫います。(石山)

▶ともバイアス半衿。右は絹100%。特殊な綾織地で適度な伸縮性があります。3,150円。左は手入れが楽なポリエステル100%。1,575円(2点とも/高島屋東京店)



▲バイアス衿芯に塩瀬の半衿は基本の組み合わせ。右の衿芯は630円、左の半衿は1,575円(2点とも/高島屋東京店)

▲伸縮性のあるバイアス半衿は、上図を参考にできるだけ細かく縫うと生地が安定します

問3

新しい機能を
備えた半衿を
使ってみたの
ですが、特徴は？

答 正絹でも洗濯機で洗
える半衿が便利で

す。特殊な加工が施されているので、洗ってもほとんど縮みません。もうひとつは抗菌防臭加工が施された半衿。肌の弱い方や汗が気になる方に。着用の目的によって使い分けを。(田家)



▲左は抗菌防臭加工が施されたポリエステル100%の半衿。1,050円 右は洗濯機で洗える絹の半衿。2,100円(2点とも/高島屋東京店)

問4

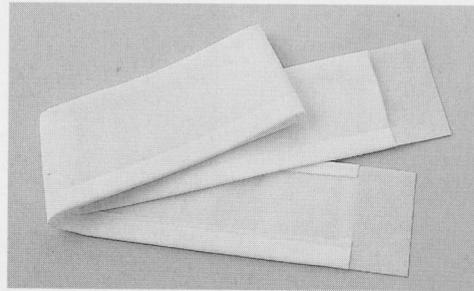
手間をかけずに
きれいな衿元に
仕上げるには？

答

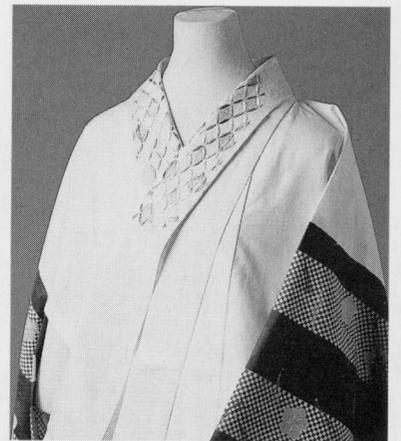
半衿付けは慣れない
と時間と手間がかか
ります。手早く美しく仕上
げたいときは、市販の仕立
て衿が良いものです。
着用したとき首周りに余裕
ができ、動きに沿って乱れ
ず、美しさを保ちます。時
間の余裕がない方には、衿
芯付きの半衿やファスナー
装着の半衿付きの襦袢も使
いやすいでしょう。(田家)



▲▶柔らかな素材の
衣紋抜きと紐が付いた
ロングセラーの仕立
て衿です。長襦袢に
かぶせるだけで衿山
がきれいに収まります。
「No.32あづま衿」
2,520円(あづま姿)



◀扱いやすく柔らかな
衿芯付きなので、縫い
付けやすいのが特徴。
洗濯も楽にできます。
衿元の印象も優しげに。
1,575円(銀座くのや)



▲面ファスナーで専用の長襦袢に付ける半衿。
仕立て半衿と半襦袢のセット。(和装イング)
◀手早く衿替えができるナイロンファスナー
付き。ネット洗い可。「半襦袢・裾除けセット」
替え衿付。ML各16,800円(高島屋東京店)

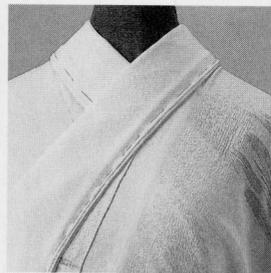
問5

半衿付けの
新しい方法を
知りたい
のですが？

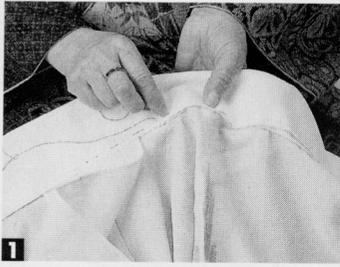
答

仕立て衿を使い、一度の時間
で二度装える、時間がない方
にお薦めの縫い方をご紹介します。
仕立て衿は、本来そのまま長襦袢に
かぶせるだけでよいのですが、ここ
ではもう一枚半衿を用意して仕立て
衿にかぶせ、縁を二度縫いすること

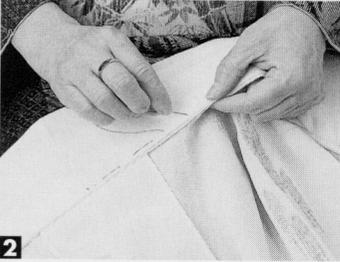
で一枚の半衿を二度使用すること
ができます。付け方は普通の半衿付け
と変わりませんが、内周りは、親指
と人さし指でしっかり引っ張りなが
ら縫うと美しい丸みが出ます。ここ
では右欄に紹介した「あづま姿」の
衿を使用しました。(田家)



▲上は二度縫いが終わり、着用
できる状態。厚みは感じられま
せん。下は二度目の使用のため
に縫い目をほどこしたところで



1 外周に仕立て衿を付けます。長襦袢の表
側の背中心から左右を衿先まで縫います



2 襦袢を内側に返し、背中心から左右を5~
6cm、かがり縫いで縫い付けます



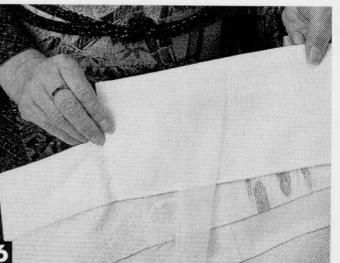
3 上掛け用の半衿の端を約1cm折り、仕立
て衿の上に背中心から左右に縫います



4 内側背中心を止め、衿肩あきを10cmほ
ど縫わず、その先から衿先まで縫います



5 表に返し、半衿の幅の余った部分を折り
込みながら背中心から重ね縫いします



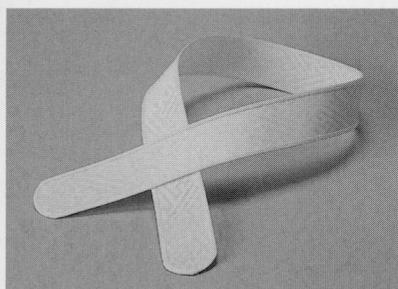
6 仕立て衿に付いている紐を幅半分に細
く切り、仕立て衿の衿先に縫い付けます

問6

はめ込み式の衿芯の
上手な使い方や
利点について
教えてください。

答

ポリエチレンやナイロンなどの合成樹脂製のはめ込み芯を使用すると、きもの通の方々だけでなく、初心者でもきれいな衿元に仕上がります。硬めの感触をもつものから柔らかな手触りのものまで、さまざまなタイプがあり、きもの種類や体型、衣紋の抜き具合などによって使う衿芯は異なります。衿芯が動く場合は、両端を小さな安全ピンで留めるか二針ほど縫うとよいでしょう。（はめ込み芯の詳細は三八六ページ参照）
（協力／あづま姿）



▲・▶厚みがありやや硬めの感触をもつ衿芯を使用しました。衿元は自然できれいな丸みに仕上がります。「好リンス」315円（あづま姿）

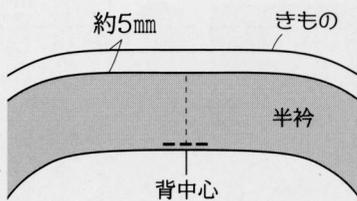


問7

後ろの衿から
半衿が出る
ことがあります。
着つけの注意点は？

答

下図のように、半衿がきものより約5mm下がっているのが基本ですが、動いているうちに半衿が上がってしまうことがあります。外出時に心配な場合は、針目が出ないようにしながら、長襦袢ときもの背中心を二〜三針縫うとよくと安心です。（石山）



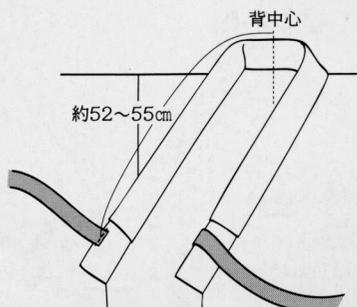
◀半衿がきものからはみ出るなどの着崩れの原因のひとつはきものと長襦袢の寸法が合わない場合にも起こります。きものと長襦袢の寸法は必ずチェックします

問8

長襦袢の衿先に
紐を付ける
場合の目安を
教えてください。

答

長襦袢の衿先に紐を付けておくと襦袢がずれないため着崩れせず、衿元も乱れません。そのため衿芯は長めにし、寸法が足りない場合は縫い足します。紐を付ける位置は背中心から五二〜五五cmが適当です。（田家）



◀衿先に付ける紐は幅があり伸縮性に富んだ包帯がお勧めです。体を締めつけず紐で結ぶという感覚がありません。包帯がなければガーゼを重ねて厚めにして付けてもよいでしょう

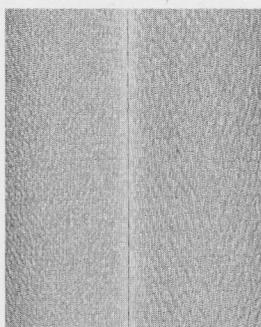
問9

衿の時期に用いる
塩瀬以外の半衿の
使い方について
教えてください。

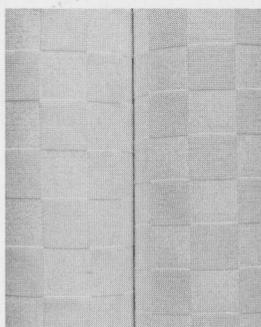
答

衿の時期の半衿のうち、よく使われる塩瀬には薄手と厚手がありますが、厚手のほうが衿が安定し、縫いやすいものです。縮緬はアイロンをかけてから使うと布が落ち着き、扱いやすくなります。またシボのある縮緬は水に触れると

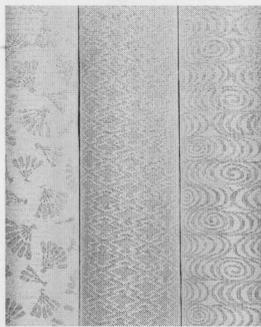
硬くなる性質があるので、特に水気に注意して扱います。おしゃれに着たいビロードは熱に弱いので、アイロンをかける場合は裏側だけに。手触りの良い紋織地も扱いやすい半衿です。付けさげや色無地、小紋などに似合います。（田家）



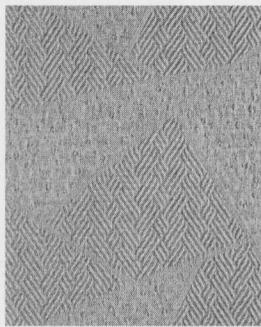
▶ともに絹100%の縮緬地。右はシボが大きく立体感がある「鶯縮緬半衿」。8,400円。左は柔らかい手触りが特徴のシボが細かい「縮緬半衿」。5,250円（2点とも／高島屋東京店）



▶しっかりした質感をもつピロード地の半衿。塩瀬に比べて地厚なので、縫いやすく扱いやすい生地です。右はアイボリー、左は白。各7,350円（2点とも／畠り正）



▶地紋のある白のポリエステル半衿は、絹とは違った光沢があり、滑らかな手触りが特徴です。扱いやすく手軽に洗えるのも魅力。各1,050円（3点とも／畠り正）



▶幾何学的な模様が織り表された紋織地の半衿です。立体感があるため、縫いやすく扱いやすい一枚。絹100%。色はベージュ。3,675円（高島屋東京店）

半衿が動かず、長く美しさを保つことが出来る秘訣は？

答

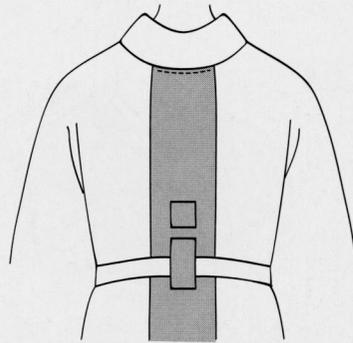
半衿を縫い付けても、衿の合わせ方や襦袢の付け紐の位置や結び方が適当でないときれいな衿元になりません。ここでは衿元を安定させる襦袢と紐の付け方を紹介します。

第一に、襦袢の背に衣紋抜きを付けたとよいでしょう。一般に紐は外側に回して結びますが、身八つ口から入れて内側で結ぶと衿元が固定します。襦袢の内側に紐を付けて結ぶ方法もあり、これも衿元が安定します。この紐はウエストの位置にこだわらなくても、自分で苦しくない位置を選ぶことが大切です。衣紋を深く抜きたい方は紐を上めに、そうでない方は下めに付けると安定します。また手間をかけたくない方は、さまざまな機能をもった長襦袢も市販されています。咽のくぼみを残し、バストトップの位置に合わせるように衿合わせすると、美しい姿になります。(石山)

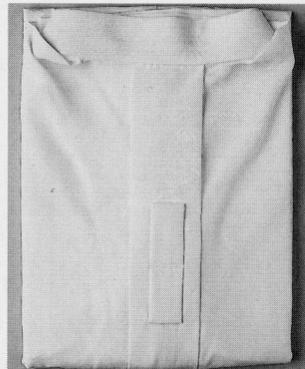
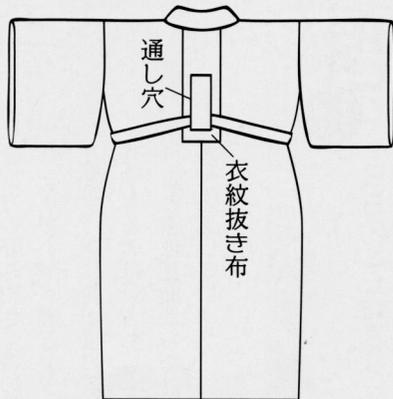
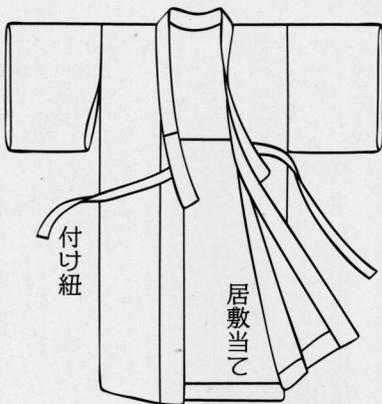
市販の衣紋抜きを使って仕上げる



▶濃色部が衣紋抜きで、晴着用と普段着用を使い分けることができます。左の商品はこの役目を果たします。
◀右は衿付け部分がくり型になっているので、きれいに衣紋が抜けます。綿100%。「No618.DXえもん抜き」630円。左の表地はナイロン、中芯はレーヨン。「No601.えもん抜き(2枚組)」735円(2点とも/あづま姿)

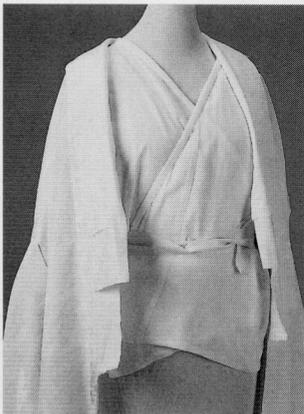


さまざまな機能を盛り込んだ長襦袢



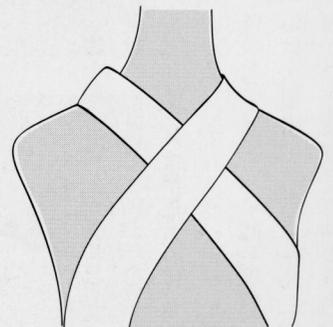
▲◀バイアス半衿や衿先の付け紐、衣紋抜き布のほか、広幅の居敷当てなど多くの機能を併せもった長襦袢。ポリエステル生地で6タイプ。「夢ぎぬ長襦袢」24,150円(高島屋東京店)

紐の付け方を工夫します



▲長襦袢の内側に腰紐や面テープなどを縫い付けます。内紐で衣紋の抜き加減が安定します
◀◀襦袢に衣紋抜きを付け、紐は外側からでなく、身八つ口から通して内側で結びます

きれいな衿合わせのコツ



▲衿がバストトップの位置に当たるように合わせるときれいな衿元になります。首の中心下にある咽のくぼみが隠れないようにします

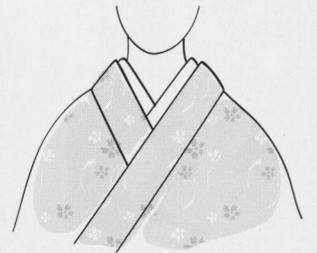
問 11

なで肩の人と
いかり肩の人では
衿元の仕上げは
どう違いますか？

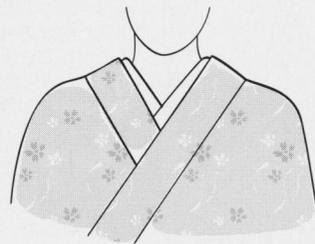
答

着つけは背の高さ、首の長さ、首の付き方、胸の大きさなど、一人ひとりの体型によって変わってきますが、基本を覚えておくといでしょう。一般的にいかり肩で、首が短めの方は衿の分量を少なく、狭めにします。衿が立っていると肩がより強調されますから、衿を寝かし気味に着つけます。

なで肩の人は逆に、衿が寝ているとバランスが悪くなるため、衿を立てるようにすると自然に見えます。(石山)



▲なで肩の人は衿を立て気味に。背が低く、胸のある人は衿幅を狭く。背が高く、首が長い方は広くとるときれいな着姿になります



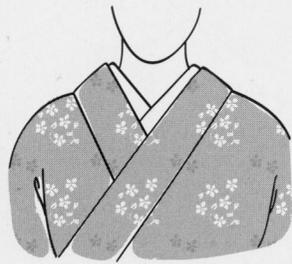
▲いかり肩の人は衿を寝かせ気味に。いかり肩で首が短めの方は、難点を目立たなくするため、衿幅を狭くするほうが美しく見えます

問 12

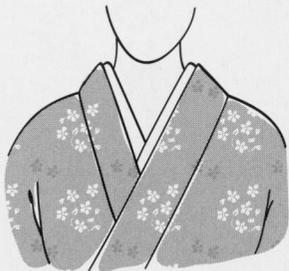
半衿はきものから
どのくらい
見えるのが
適当でしょうか？

答

耳たぶの下から後ろは半衿が見えなくなるように衿を合わせます。正面は耳から胸に向かって半衿が一・五〜二cmと出るようにします。衿が合わさった三角形の部分で、合わせ目の幅が最低二cm以上は出るようにしましょう。二cm以下ですと、年齢にかかわらず貧弱に見えます。また正装などの格の高いきもの場合は三cm以上出して華やかさを演出します。いずれの場合も、首の脇と半衿に指一本分のゆとりをもたせて着用します。(清水)



▲広くゆったりと取られた半衿は、品の良さと格調の高さを感じさせます。正装に近くなるほど衿元で半衿を多めに取ります



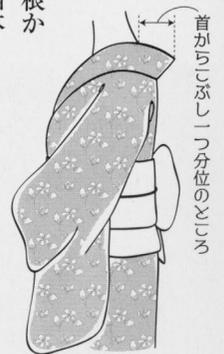
▲細長いV字形は、知的に颯爽と着こなす場合に向きます。きものはこの雰囲気似合う繊細な小紋などのカジュアルなおしゃれ着を

問 13

衣紋の抜き方の
基本の寸法などは
あるのでしょうか。
教えてください。

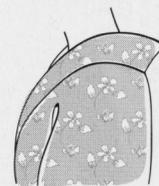
答

衣紋の抜き方は、首の付け根から後ろの衿山まで、手の指四本(こぶしひとつ分)が入るくらい空けるのが基本です。横や後ろから見た場合、後ろ衿が極端に抜けていないよう気を配りましょう。衣紋の抜き方は、着る方の好みやきもの種類によって異なりますが、抜きすぎると下品になります。逆に衿が首に着くように詰まりすぎるのは見苦しいものです。着つけるときは正面からだけでなく、横の姿も確認しましょう。(清水)

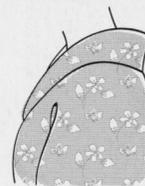


首がらこぶし一つ分位のところ

抜けている状態



詰まっている状態



▲着つけの際は正面からだけでなく、衣紋の抜き具合を見ながら横の姿も鏡で確認します。格の高いきものは衣紋を多めに抜き、おしゃれ着は衣紋を詰め気味にするのが基本です。あまり極端な着つけにならないよう気を配りましょう

▲衣紋を抜く場合は、こぶしひとつ分程度の基本と考えます。着つけは、帯の高さとのバランスを見ながら仕上げましょう

問 14

きものを着ると首のシワなど
体型の欠点が目立ちます。
上手に着こなす
コツを教えてください。

答

衿元はきもの装いのなかで、もっとも目立つところですから、年齢にかかわらず清潔で好印象を与えるように気を配ります。「抜きすぎず、詰めすぎず、ゆったり」という着つけの基本に添って装いましょう。特に年齢を重ねた方の衿合わせは、品の良さを感じさせることが大切なので、半衿は広めに取ることをお勧めします。細長いV字形の衿元にする胸元が強調され、首のシワが目立ち、貧弱に見えます。



▲お年を召した方は小意気に装いたい方をのぞき、おしゃれ着でもやや広めにのぞくようにするほうが年配の美しさを感じられます

また顔より衿元が先に目立つことは避けたいものです。お年を召した方なら、礼装以外は伊達衿も付けないほうが望ましいでしょう。半衿は淡い中間色の上品な色を。年齢を重ねた方の装いは、相手に安心感を与え、温かさや豊かさを感じさせるゆとりある着姿にしたいものです。(清水)

問 15

出掛けるときに衿芯がない、外出後に衿が詰まってしまった、というアクシデントの対処法は？



答 外出時に衿芯が見つからないといった場合は、張りのある厚めの紙や和紙などで代用できますから試してみてください。また外出時に衿が詰まったら、まず後ろから長襦袢を引きます。次に片手で首の横の衿をつまみ、片手で身八つ口から手を入れ、長襦袢の衿先を斜めに延長上に引きまします。もう片方も同様にするときれいに仕上がります。

(石山)

問 16

白半衿と淡い色半衿との使い分け方を教えてください。

答 留袖や振袖などの礼装で臨む場合は、新しい正絹の白半衿が望ましいでしょう。カジュアルな小紋や袖なら、少し色みのあるアイボリーも好ましいものです。お年を召した方は、真つ白よりソフトな色みのある半衿が装いを和らげ、温かな印象を与えてくれます。使っている正絹が黄ばんできたら、紅茶などで染め、おしゃれに着用するのも一案です。

(石山)

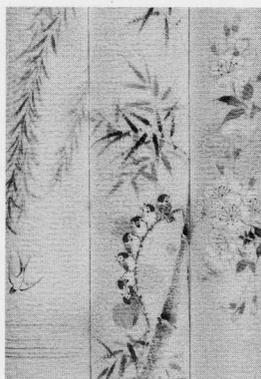
問 17

刺繍や友禅染、絞り半衿などの上手な付け方を教えてください。

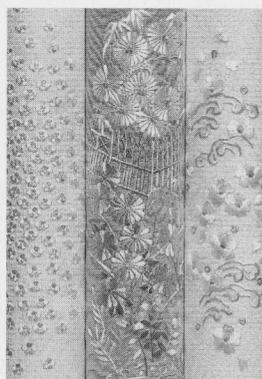


答 刺繍半衿や色半衿、絞り半衿などで衿元のおしゃれを楽しまたい方に。特に刺繍などのポイント柄のある半衿は、略式の付け方のほうが扱いやすいもの。まず出した柄をどこにするかを決めます。その部分をマチ針などで印をつけて目安にし、バランスを見ながら先に衿芯に付けた後、襦袢に縫い付けます。こうすると出した柄を出すことができます。これらの半衿は衿元を華やかに見せるものですから、広めに3cm程度は出します。なお茶席では白半衿を用いましょう。

(石山)



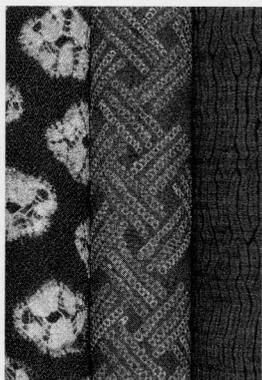
▲3点とも絹100%の手描き友禅。右はピンク地に桜。中は竹に雀。左は柳に燕。四季の風景が優しいタッチで表されています。各14,490円(3点とも/桑り正)



▲3点とも絹100%の華やかな刺繍半衿・振袖や色無地などに。右は波に桜。中は菊と桔梗柄。各26,250円。左は梅花。21,000円(3点とも/高島屋東京店)



▲小紋や袖などのカジュアル着に、普段使いで楽しめるポリエステル100%のモダン柄。気軽に洗えるのも魅力です。各1,890円(3点とも/桑り正)



▲3点とも絹100%の絞り半衿。右は黒とえんじの縞。13,650円。中は紺地に幾何学柄。15,750円。左は焦茶に白の花。21,000円(3点とも/高島屋東京店)

半衿へのこだわり

清水ときさん

財日本きもの文化協会会長
学専門学校
「清水とききものアカデミア」学長



日々たくさんの方々にお目にかかります。そうした折、相手の方が気持ち良く話せるような清潔感のある装いを心がけておられますので、半衿は毎日必ず新しいものに替えています。きものは品の良い豊かさを感じさせるような着つけが望ましいもの。半衿の合わせ方ひとつで、生

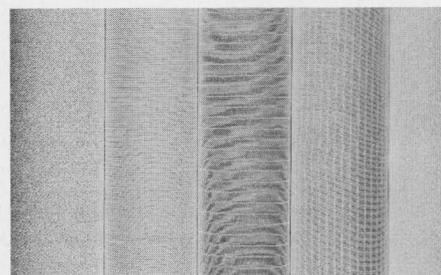
活まで見えてしまいますので、衿元には特に気を配っております。半衿の付け方で特にこだわっているのは後ろのシワ。ここにシワが寄らないよう右・左の衿肩あき両側を引っ張りながら、吊らせ加減に半衿を付けるのが望ましいでしょう。私は普段は白の半衿で

すが、おしゃれ着やパーティ着には、好きな羽織地や洋服の生地などを日頃から衿芯に張り、すぐ長襦袢に付けられるよう作っています。レースや刺繍のものなど合わせるきものを選ぶのも楽しみです。きものおしゃれの醍醐味は、そうした小さなところにも隠れているのです。(談)

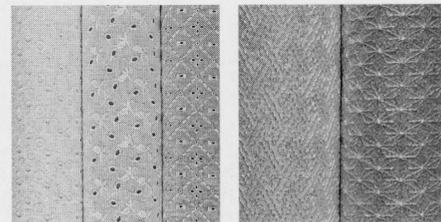
問 18

夏物を使うときの注意点と新しい商品を教えてくださいほしいのですが？

答 絹や楊柳は絹目や堅シボがあるので、地の目を目安に曲がらないように縫います。紗は柔らかな質感を保つように。楊柳や縮緬は洗うとちぢみややすい特性があります。洗った後は風合いを損なわないよう、アイロンの蒸気を片面だけかけます。最近では綿にレースを重ねた、ひとえや衿のおしゃれ着にも楽しめる半衿も登場しています。(石山)



▲右から「楊柳」絹100%。3,150円「堅絹」ポリエステル100%。840円「縮塩瀬」絹100%。3,150円「三本絹」絹100%。3,675円「縮縮緬」ポリエステル100%。1,260円(5点とも/高島屋東京店)



▲カジュアルで可愛い衿元を作る綿レース半衿。カラフルな色の綿裏地付き。ひとえの時期のおしゃれにも。各1,890円(3点とも/彗正)
▲縮緬地に、レースが施された透ける布を重ねた優美な半衿。ともに化繊で色は白、ピンク、ブルーグリーンなど。各3,150円(2点とも/彗正)

問 20

半衿の上手な手入れ法と洗濯のしかたを教えてください。

答 半衿には汗やファンデーションがしみ込みます。長襦袢から外したら、すぐにぬるま湯に洗顏石けんを入れた容器に浸します。特に汚れている部分は、古い歯ブラシの先に石けんを付け、生地目に沿ってこすり落とします。ひと晩浸しておくと、汚れが落ちやすくなります。洗い終わったら、掌でシワを伸ばしてから、干します。白半衿は汚れやすいので白を損なわないよう、アイロン台に白布を敷いてから半衿にアイロンをかけます。日頃から糊抜きした白い新しい生地を用意しておきましょう。(清水)

石山美津江

(いしやま みつえ) ●着つけ師。清水とき・きものアカデミアを卒業後、着つけ師アシスタントを経て独立。雑誌やTV、舞台などの着つけ師として活躍している

問 19

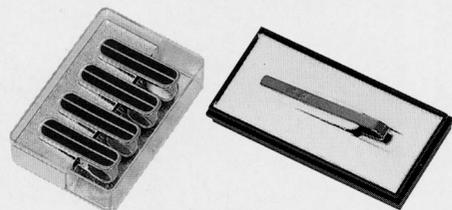
きもので旅行に出掛けるときのアドバイスをお願いします

答 旅先での半衿付けは煩わしいものです。そこで出掛ける前から、薄手の二枚の半衿を衿芯に縫い重ね、旅先で上の一枚を取るようになると手間が省けます。また衿先に紐のない長襦袢の場合は衿元が乱れがちです。衿元を固定するS字形のピンを使うと安心です。後ろの衿を留めるクリップも化粧時の決まりに役立ちます。(田家)



撮影/片野吉雄

▲旅行時には半衿を衿芯に掛け、1点ずつリボンなどをかけておくとうりに使えます。半衿は略式の付け方にするとうりに襦袢に縫い留められます



▲右は上前と下前を固定するS字型ピン。「No.63 合せ止」577円。左は「No.695 ハンディクリップ小」オープン価格(2点とも/あづま姿)

田家祐布子

(たや ゆうこ) ●きもの研究家。東京・京都・盛岡を中心にライフスタイルや体型に合うきもの選びや着つけ講座を開講している。用途に応じた創作きもの製作

清水とき

(しみず とき) ●きもの研究・デザイン・教育の第一人者として長年にわたり活躍。数々の功績により、藍綬褒章、勲四等瑞宝章を受章のほか、多くの表彰を受ける

半衿へのこだわり

佐藤比早子さん

美装流前結び宗家
「美装きもの学院」総学院長



私が実践し、普段生徒にも話していることをお伝えしましょう。留袖と訪問着を着るときは正絹の白に限っています。化繊のものは時に青白く見えることがありますので、格のある装いは正絹の半衿にしてあります。また最近特に多忙で、全国を回っていますので、衿芯は

使いやすい合成樹脂の入れやすい芯を用いています。緩いカーブのついたもので、忙しいときにはとても便利です。両端は安全ピンで留めて使っています。半衿は普通に縫い付けると後ろの衿肩のところはシワが寄りがちです。これを解消するため、半衿を内側の衿肩あきの

背中心より両側に5mmずつ吊り気味に付けて、シワが寄りにくくなります。年を重ねていくと真っ白な半衿ですと顔が浮いてしまいます。そうした場合は絹にわずかに色がついたような、生成りの半衿のほうが雰囲気調和し、柔らかな感じを与えてくれます。(談)